

平成26年度施策評価に係る外部評価シート

担当部局名	危機管理防災課・危機管理防災課		
施策名	施策31 地域防災力の強化		
施策の目的	災害から市民を守るための地域防災体制の整備に努めるとともに、市民一人ひとりが災害に対しての考え方や知識を持ち、防災意識を高め、有事の際にはお互いに助け合うことのできるような地域づくりを目指します。 さらに、市民が安全で安心して暮らせる災害に強いまちの実現を目指します。		
平成25年度決算(千円)	177,173	平成26年度予算(千円)	164,296

※外部評価委員記入欄

評価項目		判断	判断理由	
① 事務事業の妥当性	<p>この施策を構成する事務事業は妥当であるか？</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●当該施策の推進において事務事業の過不足はないか。必要性・重要度が特に高い又は低い事業はないか。 ●施策評価シート「5. 事務事業の検討」の施策内優先度は妥当か。 	A 効果的な構成である	1	<ul style="list-style-type: none"> ●WS(ワークショップ)推進と具体的対応・実施に向けた事務事業が育っていると判断しました。更に効果的な事業にするためには、今後より難しいチャレンジかもしれませんが、今日の時点ではやるべき初期事業はなされていると思いました。(A) ●判断理由記載なし。(B) ●自主防災会あたりの平均参加人数が減少傾向にあるが、防災上の育成に力を入れており今後に期待が持てる。また、部署内の連携も取れており概ね妥当である。(B) ●ハード面での事業展開はどちらかといえば別々に考え、ソフト面で助け合い精神が醸成されるような事業展開を！(B) ●「自衛官募集事業」は無関係ではないが、災害時の独居高齢者への情報伝達の取組が弱い。(C) ●行政でしかできないことに注力するという視点では、火災共済は民間の保険に移行可能ではないか。(C)
		B 概ね妥当である	3	
		C 構成に問題がある	2	
② 施策の進捗状況	<p>施策は計画通り進んでいるか？</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施策評価シート「3. 施策の指標における成果(主な指標)」、「4. 施策の展開(結果と今後の方向性)」や「5. 事務事業の検討」の成果等を参考とする。 ●施策と事務事業の進捗状況の説明内容等を参考とする。 	A 躍進中	0	<ul style="list-style-type: none"> ●判断理由記載なし。(B) ●制度創設、計画策定面での作業は予定通りと考える。実施メニューも計画通りであろう。但し、そのアウトカムについては判定が難しい。(B) ●判断理由記載なし。(B) ●東日本大震災を契機に自主防災の意識が高まっている。本市における最も被害が予想される水害に関しての防災対策も整備できていると思う。(B) ●必ず来るであろう、大災害に向けて考え過ぎということはないと考えます。積極的に計画を進めて欲しい。(B) ●水害対策訓練の強化、各災害に対する訓練の実施等の推進はこれからのステップであるため、Bであると判断しました。今後更にステップアップを目指しているため、Bと判断し、今後Aに向けて躍進を希望します。(B)
		B 予定通り	6	
		C 遅れ気味	0	
③ 資源の方向性	<p>今後、この施策の資源(人員・予算)の方向性は？</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施策の目的の達成に向け、現状の人員や予算を来年度以降、どのようにすべきか。 ●個別の事務事業の予算配分は妥当か。 	↑ 増加	1	<ul style="list-style-type: none"> ●効果的な構成と思われる現体制下において、より効果を発揮するために、今後より拡大すべき取り組みも存在し、方向性としては増加が望ましいと判断しました。(↑) ●判断理由記載なし。(→) ●備品や設備更新への費用減は難しいであろうが、一部事務組合や近隣市単位での購入等の低コストへの工夫は可能かもしれない。(→) ●大規模な災害や想定外の災害が発生しており、従来の常識を見直して今後のリスクに備える必要がある。(→) ●いつ起こるかかわからない災害に備えることが重要ですので資源の方向性は維持すべきである。(→) ●一部事業については増加させる必要もあると考えます。その場合でも、固定費は増加させず工夫し、ソフト的な部分の拡充を希望します。(→)
		→ 維持	5	
		↓ 縮小	0	

④コメント欄(今後の施策運用に関する改善策、その他意見等)

- 関係課の中には、雨水貯留や雨水流出抑制の観点から下水道部局もあってよいのではないかと。
- 防災性能向上のための防災地区指定など、制度枠組が整えられた。次はその新しい枠組の下で、実態の進捗を測定するように成果指標を変更するタイミングではないか。
- 災害が従来のレベルをはるかに超えるようになってきており、戸田市単独では限界がある。県、他市との連携を進めていくことも検討されたい。
- 特にないです。継続して事業を進めて行ってください。
- 地域防災の目標として、災害発生時に「戸田市内の犠牲者を減らす」ではなく、「零」とすべきと考えます。
- WS(ワークショップ)のより推進と活用を希望します。より細分化した対応へ推進実現されると良いと思います。